

異常確認の有無		工事との関連性	対策の検討	
目視観察結果	目視観察の結果、工事に伴う異常は確認されなかった。			
水質調査結果	全般結果	<ul style="list-style-type: none"> 基準値が7mg/Lに設定されているSt.1では、調査期間中のSS値は基準値以下であった。 基準値が11mg/Lに設定されている調査地点(全17地点)では、St.11、St.14、St.15、St.16、St.17、St.Aの6地点を除く他の調査地点で調査期間中のSS値は基準値以下であった。 基準値を超えた観測の回数: St.11 = 1回(12mg/l)、St.14 = 1回(17mg/l)、St.15 = 2回(12~13mg/l)、St.16 = 14回(12~127mg/l)、St.17 = 8回(12~58mg/l)、St.A = 30回(12~48mg/l) 	<ul style="list-style-type: none"> 対象期間を通して、打設場所近傍のSt.18、19、20、21、22では基準値を超える値は観測されなかった。 観測された濁りは、強風や波浪による底質の巻上げ、降雨による流入水路からの濁水の流入などが影響していると考えられる。 	
	海域	<ul style="list-style-type: none"> St.11、St.14では、基準値(SS11mg/L)を超える値が、12日午後に観測された。 St.15では、基準値(SS11mg/L)を超える値が、2日午後、23日午前に観測された。 St.15は低潮位時において、相対的に高い値のSSを示す傾向が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 打設は行われておらず、降雨による流入水路からの濁水の流入などが影響しているものと考えられる。 2日は打設が行われておらず、強風や波浪による底質の巻上げが影響していると考えられる。 23日は打設が行われているが、打設点近傍では基準値を超える濁りが観測されていないため、底質の巻上げなどが影響していると考えられる。 	
	流入水路部 (St.16、St.17、St.A)	<ul style="list-style-type: none"> 2日午後St.A、3日午前St.A、4日午前St.16、St.17、午後St.16、St.17、5日午前St.16、St.17、St.A、午後St.16、St.A、6日午前St.A、午後St.16、St.A、8日午前St.A、午後St.A、9日午前St.A、午後St.A、10日午前St.A、午後St.16、St.A、11日午前St.A、午後St.16、St.17、St.Aで基準値を超える濁りが観測された。 12日午前St.A、午後St.16、St.17、St.Aで基準値を超える濁りが観測された。 13日午後St.16、St.A、15日午後St.A、16日午後St.A、18日午後St.16、St.17、19日午前St.16、午後St.Aで基準値を超える濁りが観測された。 20日午前St.16、St.17、St.Aで基準値を超える濁りが観測された。 20日午後St.A、22日午後St.A、23日午前St.A、午後St.A、24日午後St.A、26日午後St.A、27日午後St.16、St.17、St.A、28日午前St.A、午後St.16、St.17、St.Aで基準値を超える濁りが観測された。 	<ul style="list-style-type: none"> 打設は行われておらず、強風や波浪による底質の巻上げや、流入水路からの濁水の流入が影響していると考えられる。 打設は行われておらず、降雨による濁水の流入が影響していると考えられる。 打設の有無に関わらず濁りが観測されていることや、打設点近傍では基準値を超える濁りが観測されていないことから、流入水路からの濁水の流入が影響していると考えられる。 打設が行われているが、打設点近傍では基準値を超える濁りが観測されていないため、降雨(現地観測)による流入水路などからの濁水の流入が影響しているものと考えられる。 打設の有無に関わらず濁りが観測されていることや、打設点近傍では基準値を超える濁りが観測されていないことから、降雨などによる流入水路からの濁水の流入が影響しているものと考えられる。 	
		生物監視調査	モニタリング調査結果は別添の資料参照	
		その他	<ul style="list-style-type: none"> 杭の打設日:13,14,15,16,17,20,21,22,23,24,25,27日(合計12日) 2~5日:強風のため海上調査地点の作業休止 	